

□ シートを独自に設計する場合

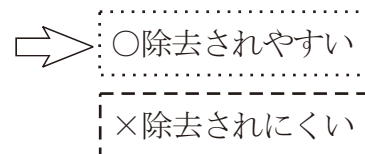
読み取りを行うシートは、このシステム上で、設計・印刷したものを使用することが前提になっていますが、下記の点に留意することで、ワープロソフト等で独自に作成することも可能です。

<記入欄(チェック欄)の枠について>

読み取ったイメージに、記入欄の枠が残っていると、文字の誤認識に繋がりますので、必ず、下記の規定に従ってシートを作成してください。

○ モノクロ印刷

記入欄の枠(罫線)は、右例(矢印)のような細かい点線にしてください。



○ ドロップアウトカラー印刷(赤・緑・青)

実線も使用できます。

※ スキャナーで、実際に読み取りを行って、記入欄の枠が完全に除去されているかを確認してください。

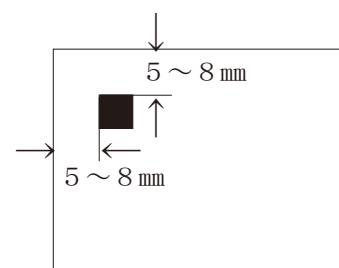
除去されていない場合は、ドロップアウトカラー印刷では、除去されやすい色を使用するか、濃度を薄くするなどして、色を決めてください。

<補正マークについて>

シートがズレて読み取られた場合のイメージの補正は、シート上部の補正マークにより行っています。

したがって、右例のような、マーク“■”(2mm角)をシート上部の左右に付けてください。

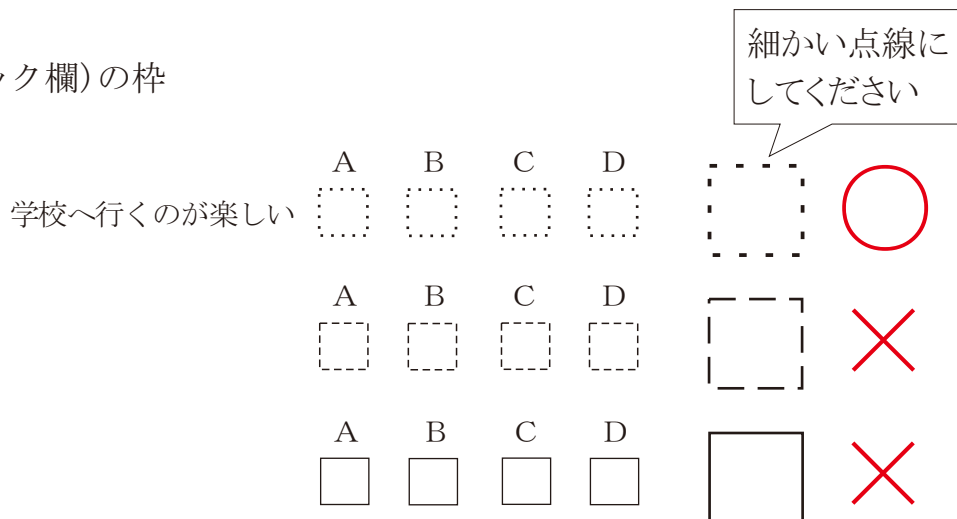
(印刷は、必ず“黒”で行ってください)



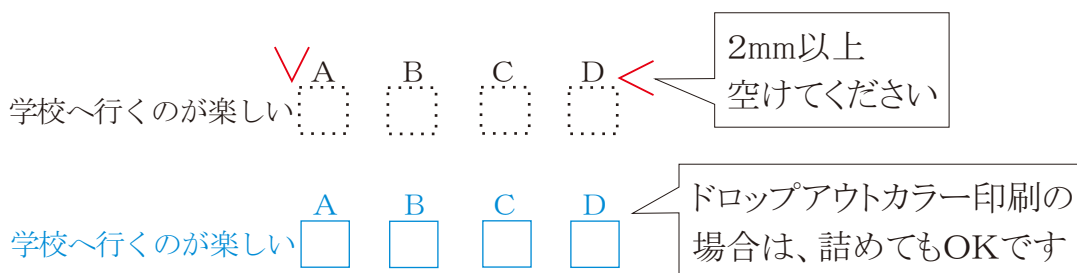
□ シートをデザインする際の注意

読み取りを行うシートをデザインする場合は、下記の点に留意して行ってください。

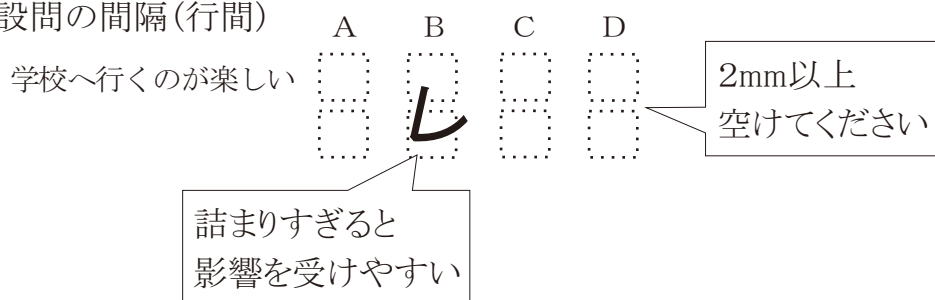
○ 記入欄(チェック欄)の枠



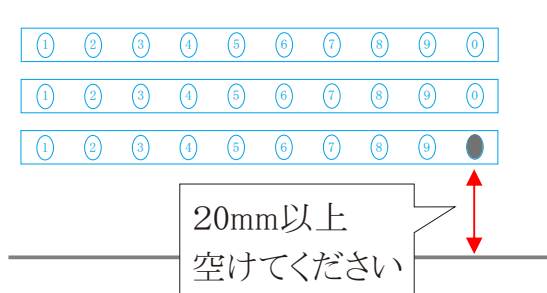
○ 設問や選択肢と枠の間隔



○ 設問と設問の間隔(行間)



- シート下部の余白が少なすぎると
シートの天地を逆にセットした場合に、
塗りつぶしたマークを、補正マークと誤認識
してしまう可能性があります。



□ 「手書き風フォント」のインストール

あらかじめ印刷(プレプリント)された数字を読み取る場合は、読み取る数字を下記のような手書き風フォントで印刷してください。

(明朝体やゴシック体では誤認識してしまいます)

1234567890

シートにプレプリントした数字が、この書体と異なっている場合は、「手書き風フォント」が正しくインストールされていません。

その場合は、下記の手順で、インストールを行ってください。

「Windows Vista」または「Windows 7」をお使いの場合は、手書き風フォントが自動的にインストールされませんので、必ず、インストールを行ってください。

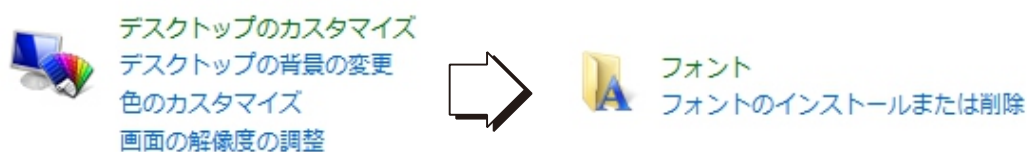
<「Windows 7」の場合>

プログラムをインストールしたフォルダの下の“fonts”の“EZHOCR.ttf”を右クリックして、「インストール」を選択してください。

<「Windows XP」「Windows Vista」の場合>

スタートメニューで「コントロールパネル」→「デスクトップのカスタマイズ」→「フォント」をクリックしてください。

(クラシック表示の場合は、「コントロールパネル」→「フォント」をクリックしてください)



「ファイル」→「新しいフォントのインストール」をクリックしてください。
(フォントを選択するダイアログを表示します)

プログラムをインストールしたフォルダの下の“fonts”の“EZHOCR”を選択し、
「インストール」を押してください。